

2020年3月23日

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部障害福祉課
障害児・発達障害者支援室長

本 後 健 殿

一般社団法人 全国児童発達支援協議会
会 長 加 藤 正 仁

新型コロナウイルス関連 緊急調査（その1）の最終とりまとめの情報提供

日ごろから一般社団法人全国児童発達支援協議会（CDS-Japan）の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般CDS-Japanが、加盟事業所を通して全国の障害児通所支援事業に対して、新型コロナウイルス関連 緊急調査（その1）を実施いたしました。

先日、速報値をお届けしてはいますが、確定版として改めて情報提供いたします。丁寧な編集及び読み込みはできていませんが、ローデータをまとめました。グラフの書式等整っていないところがありますが、取り急ぎの情報提供をさせていただきます。

また、今回の緊急調査に続き、継続して残り3回の調査を予定しています。必要に応じて、情報提供させて頂く予定です。

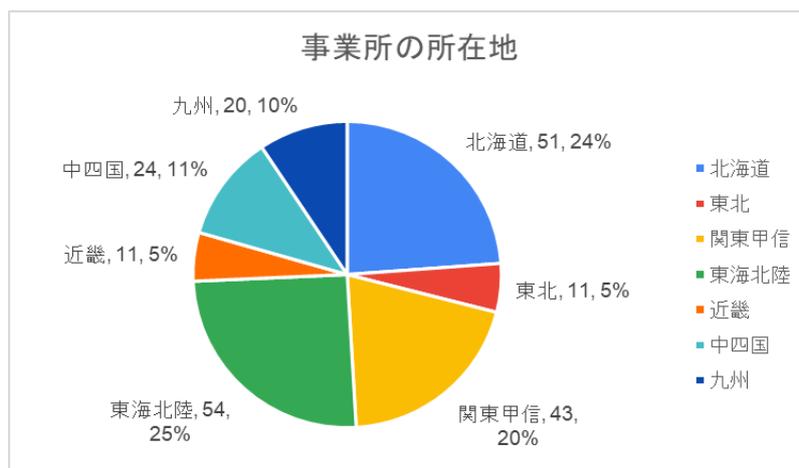
調査の概要

実施時期：2020年3月6日（金）から2020年3月18日（水）

実施方法：WEBによるアンケート調査、CDS-Japan加盟事業所への郵送での案内とHPでの告知
アンケート回収数：215件

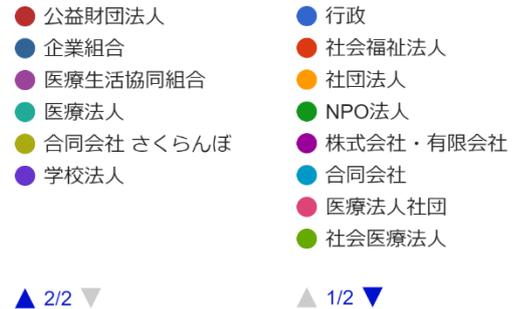
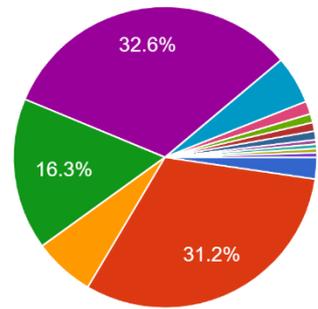
共通項目

回答者について



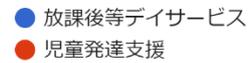
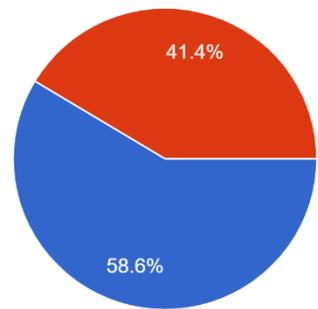
回答くださる事業所の運営主体について教えてください

215 件の回答



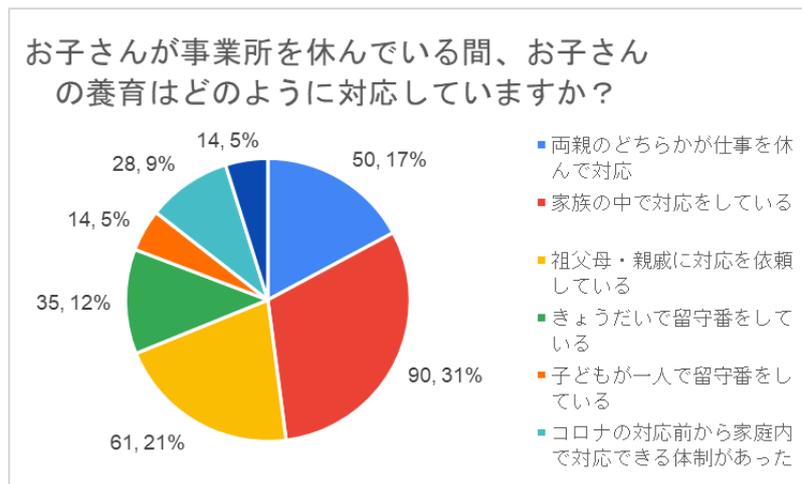
事業種別を教えてください

215 件の回答



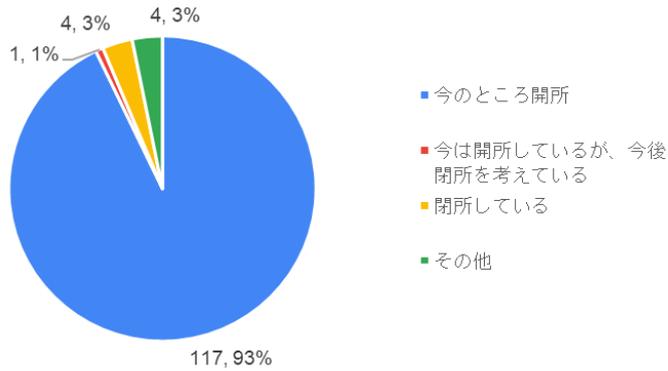
放課後等デイサービスにおける実態

<保護者さまの状況等に関して>



<事業所についておしえてください>

事業所開所状況はいかがですか？



お子さまの受け入れ人数はどのようにされましたか？

126 件の回答

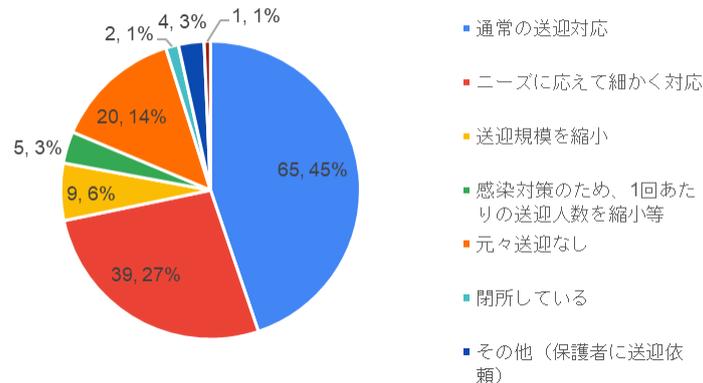


お子さまの受け入れ時間はどのようにされましたか？

126 件の回答

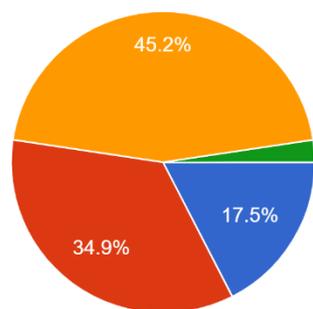


送迎はどうされていますか？



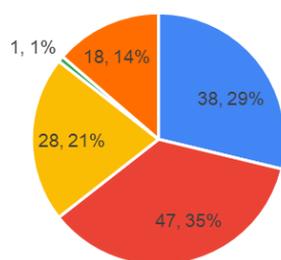
アルコール消毒液等の衛生用品は足りていますか？

126 件の回答



- すでに不足している
- 1~2週間以内に無くなりそう
- 当面は大丈夫
- 十分足りている

感染予防で職員が使用するマスクは足りていますか？

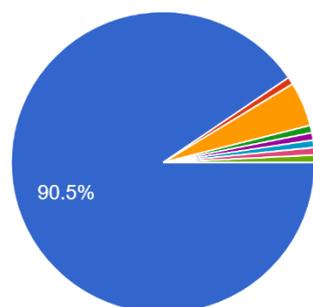


- すでに不足している
- 1~2週間以内に無くなりそう
- 当面は大丈夫
- 十分足りている
- 職員に任せている

<行政における対応及び動き等に関して>

今回のことで、市町村担当課から国の通知や事務連絡は迅速に届いていますか？

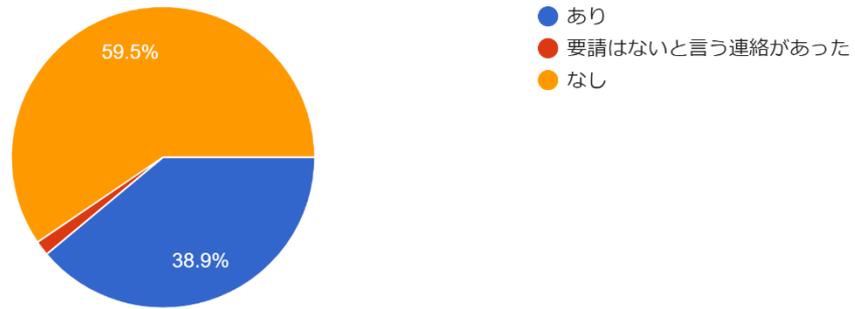
126 件の回答



- メールで届いている
- ファックスで届いている
- ホームページに掲載
- 何も無い
- 届いているが遅い
- 速く情報発信するように強く要請し、その後随時メールで届いている
- 一部市町村から来るが、加盟協議会を中心に情報を得ている
- 行政から出された事務連絡は、通常時...

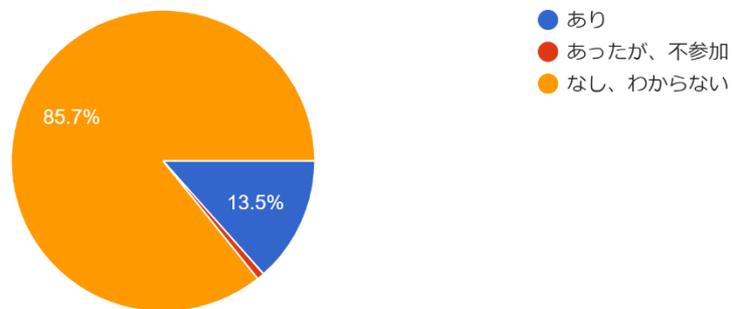
市町村担当課から受け入れに関する要請や調整はありましたか？

126 件の回答



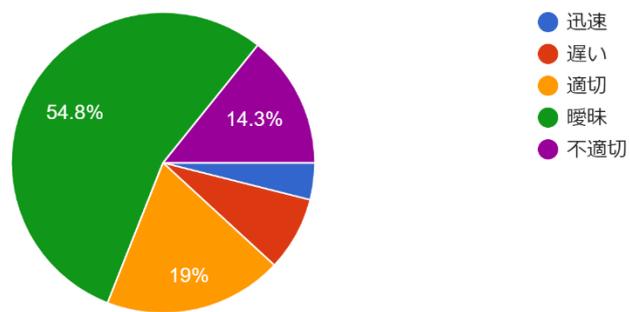
市町村担当課と対応について話し合い等がありましたか？

126 件の回答



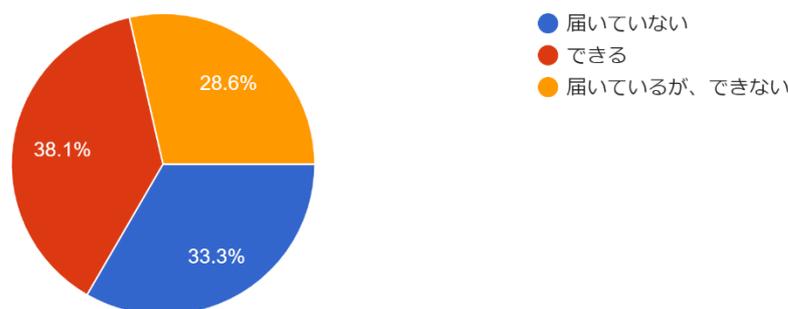
都道府県・市町村の行政の対応等は適切と思いますか？

126 件の回答



厚労省・文科省以外に届いている通知を、事務局に提供していただけますか

126 件の回答



<現在の困りごとはありませんか？>

- ・ 医療依存度の高い医療的ケア児を預かる施設として、アルコール、マスク、使い捨て手袋、うがい薬が足りない状態なのです。気管切開をしている医療的ケア児への訪問に対する指針がないことも不安があります。
- ・ 当事業所がある地域では、近隣の学校の対応が異なる場合があります。教育委員会を通じて各学校に判断を委ねているところもあるかとは思いますが、発達級に通う子供への配慮についてもしてほしいところを感じられました。私たちの市では、放課後デイの事業所が学校の教室を借りたくて連絡したところ、自習をしている児童の邪魔になるため時間を15時以降にしてほしい等の要望もあり国としては解放・提供することが好ましいと言っているものの学校レベルでの判断の違いがあり、困惑することもありました。また、市からの通知では、放デイの定員に対しての定員超過減算が適応される通知と人員配置基準についての通知が届きましたが、定員に対しての受け入れを多くした場合は減算対象とすることについてとても困惑しました。放デイ事業所が問い合わせても、当市では罹患者が出ていないためとの説明だけで、それだけでは理由にならないこともお伝えし、市が言いたい定員数と事業所側が捉える定員数と異なる状況が発生していました。市議会議員さんが仲介してくれ市としては今後の通知の出し方に注意するとのことでした。また、学校が休校となり保護者への負担も大きくなるかと思いましたが、相談支援員には特別困っているという連絡は少ないようです。学校が休校でもゲームセンターや人ごみになる場所でも子供の姿は見かけます。保護者の育児能力の弱さがみられる方については、どこもフォローしていないのが気になります。片親・生活保護世帯等支援が必要な家族へのフォロー体制が国や市が何も示さないことについてはどのように理解していいのかわかりません。
- ・ 登所しない利用者についての補完が「訪問支援」という感染症対策と逆行しているため保護者からの了承が得られない
- ・ 職員の休暇、休憩確保
- ・ 感染拡大を防ぐ為、出来る限り家庭での対応をお願いしていますが、収入が不安定になってしまわないか不安です。
- ・ マスク着用での活動とし、予備として子ども用のマスクを用意しているが、在庫がなくなってきている。
- ・ 今回のコロナウイルスの件に限らず、市の対応が現場に合わない
- ・ 2月は閉所2日も3月からは1か月休む方が10名ほど、キャンセル率もむ高く、今後の運営が厳しい。休業中の居宅訪問でできるだけ支援と健康チェックをした場合は報酬を算定できるとのことでしたが、こんな状態で訪問することは拒否される保護者がいることもあるのでおかしいと思う。

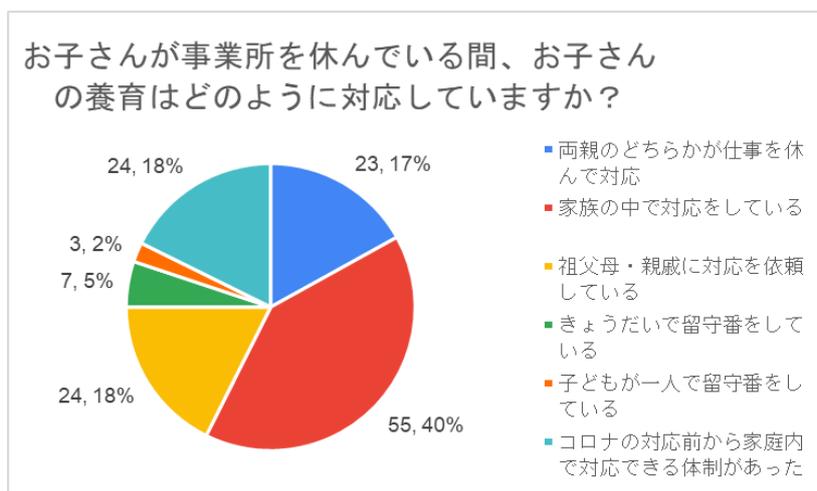
- ・ アルコール消毒液、マスクが足りない
- ・ マスクの不足が心配
- ・ いつまでこのような対応を続けていくのか。また、子ども達の療育が途絶えてしまっている。収入減が不安。
- ・ 長くなると衛生面や感染対策が難しくなる
- ・ アルコール消毒等の衛生用品がなくなりそうで困っている
- ・ キャンセルと人件費
- ・ マスク、消毒、トイレトーパー不足
- ・ 児童発達支援との多機能のため、午前中児童発達支援を行っているため、放デイのお子さんを受け入れできない状況がある。（受け入れたくても）
- ・ マスク不足
- ・ 衛生用品が足りなくなっています。
- ・ 開所中でも自粛を受けたことによる収入減。ご家族さんからの追加での対応に追われている。
- ・ マスクや手指消毒剤の不足
- ・ 自粛による児童数の大幅減（4割～5割）
- ・ 自粛による通所児童の大幅減少（4割）
- ・ マスク等、医療用品の入荷状況に問題がある。
- ・ 厚生労働省と浜松市の見解が違う事。厚労省は150%以上の受け入れの場合は減算しないとしているが、浜松市は減算すると言っている。長時間受け入れたり、多くの人数を受け入れようとしているのにも関わらず浜松市内で感染者がいないという理由で認められないのはおかしい。感染者がいなくても学校は閉鎖するのに放デイの受け入れはしろ、多く受け入れたら減算する意味が分からない。
- ・ キャンセルによる収入減
- ・ たくさんある通知に対しての読み込みや理解に困難さを感じていること
- ・ 事務的作業の時間が中々とれない
- ・ 日々の活動の内容が準備が不十分になる
- ・ 感染を恐れお休みされるが、積極的な利用は進められない
- ・ マスクが手に入らない。アルコール消毒が無くなりそうで不安。
- ・ 急な臨時休校により午前勤務のスタッフが少ない。障害のある子どもがゆえに、手洗い・マスク着用・子ども同士の接触を減らすといった一般的な感染予防策が講じにくい。
- ・ キャンセルが増えている事
- ・ お迎えの際に検温を行っており、37.5℃以上は利用をお断りしているが、37.4℃だった場合に入室後熱が上がるのではないかなど判断が難しい。
- ・ 事前の申込からキャンセルが増えている 今後5月の報酬時に不足する可能性がある。 パートさんは扶養の範囲での仕事を希望しているため年末にどの程度調子が必要になるか不安
- ・ 利用人数の減少
- ・ 朝からの利用で出かける事も難しく、この密閉空間に長時間児童がいる事での万が一の感染。それに伴うストレス。ストレスからのパニックなどによる二次被害的なもの。
- ・ 今後の目処がつかず、保護者対応が遅れがち
- ・ 浜松市の中で利用者が減少・増加の事業所は様々だと思いますが、市の対応が国の対応とは逆行している事が各事業所の不安要素になっている。
- ・ 衛生用品の入手手段がなく困っている
- ・ 外活動から室内活動に変えていて子供達の自由が無い

- ・ キャンセルありで経営が心配
- ・ 職員の時間のやりくり
- ・ 受入体制を維持できるか不安
- ・ 収入の減少
- ・ 衛生用品が手に入りません。手指消毒も足りません。行政配布はありませんか、弱い子たちもいるので。
- ・ 今のところ大きな困りごとはない
- ・ 保護者が仕事をしていない場合の受け入れはどうしたらよいのか。学童や学校の預かりは両親が仕事が休めず、一人で家で過ごすことが難しい児童が対象になっているかと思いますが、放課後デイは自宅で養育が可能でも利用を希望される方が多い。
- ・ マスクは、購入できないためこのままでは1か月程度しかもたない
- ・ マスクが不足している。
- ・ 子育て中のスタッフがあり、自身の子が通う学校の休校により勤務に影響があること
- ・ 就園、就学児のいないスタッフが多いためスタッフ休みがなく、多くの来所があっても対応できている状況です。ただ感染予防対策に必要な物品確保が難しい状況です。手洗い・うがい・計温
- ・ 職員の感染予防対策
- ・ 行政に依頼しているが、実態調査はするものの今後の対応は不明。
- ・ アルコール消毒やマスクの物資不足
- ・ 少人数制なのだがコロナを心配してキャンセルするケースがある。キャンセル待ちの子どもさんに連絡すると利用はしてくれるが・・
- ・ インフルエンザ同様、本人の身近な人に感染者いても申告していただけないと把握できないことが心配
- ・ アルコール消毒液の残量が不安
- ・ 当施設は、預かりの放課後デイではなく、就学後の療育の継続として1時間程度、感覚統合を中心とした療育活動を実施しています。小学校が休校しているのに小学生の受け入れをしていることの疑問がある。（もちろん預かりの放課後デイの場合は保護者への配慮をなすため重要と考える）表面上は対策しているようだが、春休みが早まり、あちこちで遊びにでかける子供が増え、イオンなどに人が増えた。逆効果だと思う。規制するならもっと明確に厳しくしてほしい。
- ・ マスクは手作りで洗濯しながら使用しているが手指消毒がないので同じ事業所の児童発達支援（未就学児）の受け入れはしていない。
- ・ 行政の方針が不明確な為現場が混乱している。重症児の受け入れの為感染予防は徹底しているがそれでも不安はある。
- ・ キャンセルが多く、経営が成り立たない。
- ・ 健康チェックにとっても時間がかかる。
- ・ 感染を心配してのキャンセルが多く、かなりの減収になる。
- ・ 危機意識を持つよう言われているため、感染リスクが低い環境であっても、利用を断られてしまう。
- ・ 当初は子供たちが混乱しており、不安定だった。午前中の支援者の確保が難しく、人手が足りない状況。
- ・ マスク、消毒薬がもう、あまり残っておらず、困ってます。半分以上、キャンセルになり、収入面も心配です
- ・ 万が一、感染者が発生したときの対応については不安を感じる
- ・ ご家族で対応するという方が多く、利用実績が激減している。

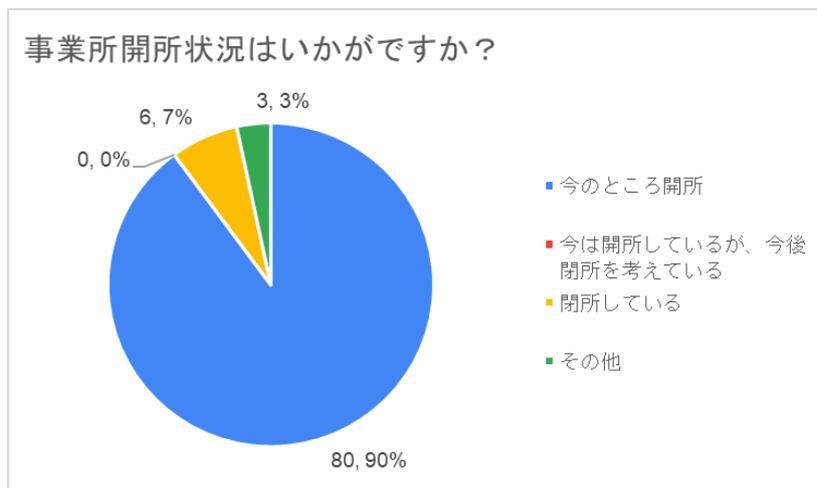
- ・ 事業所の規模が小さく、中高生をメインに行っており、外出ができなくなっている中で事業所内での居場所に確保が難しい。150%まで受け入れており、職員体制は元々確保できているが、通常より人数が多くなっている。
- ・ 保護者の仕事の都合で送迎時間が不規則になり、すべてに対応するためにはスタッフ数が不足している日もある
- ・ 職員配置を維持することが大変
- ・ 現在は何とか対応できていますが、この後も今の状況が続いてしまうと職員の体制が維持できるかどうか心配。浜松市はサポートや補填を考えていない。（緊急事態ではないという認識）春休み期間中に計画していた外出先が軒並み利用できなくなっているため、子供たちを遊ばせられる場所が近所の公園位しかない。
- ・ 児童の受け入れを定員よりも多くして体制もその分多くしているが急なキャンセルが多く職員を急遽勤務の変更、お休みにしていただくことがあり、職員の勤務保障ができない。
- ・ 欠席者が増えていること
- ・ マスク・アルコール・ペーパー類が足りなくなる。

児童発達支援センターにおける実態

<保護者さまの状況等に関して>

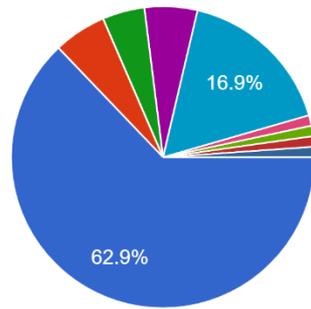


<事業所についておしえてください>



お子さまの受け入れ人数はどのようにされましたか？

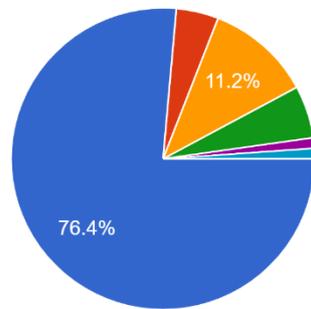
89 件の回答



- 通常体制のまま
 - 通常よりも多くの子どもを受け入れて...
 - 定員の150%を超えて、子どもを受...
 - 通常よりも利用児数を減らしている /
 - 閉所している
 - キャンセルにより減っている
 - 通常営業であるが、集団療育は個別療...
 - 一部閉園
- ▲ 1/2 ▼

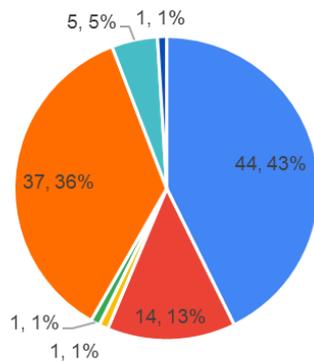
お子さまの受け入れ時間はどのようにされましたか？

89 件の回答



- 通常体制のまま
- 通常よりも長い時間受け入れている
- 通常よりも時間を減らしている
- 閉所している
- 対応できるご家庭は時間短縮になっている。
- コロナの前から受け入れていない

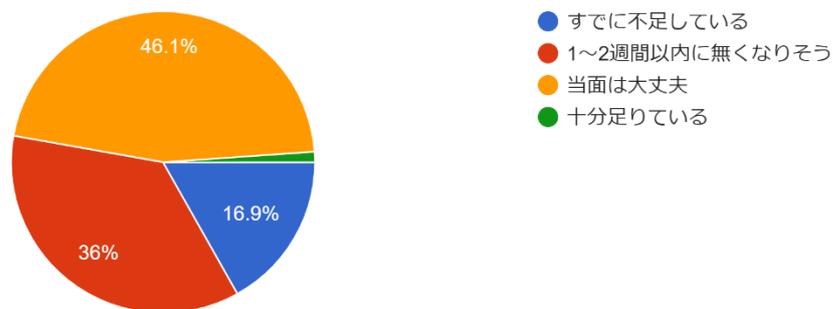
送迎はどのようにされていますか？



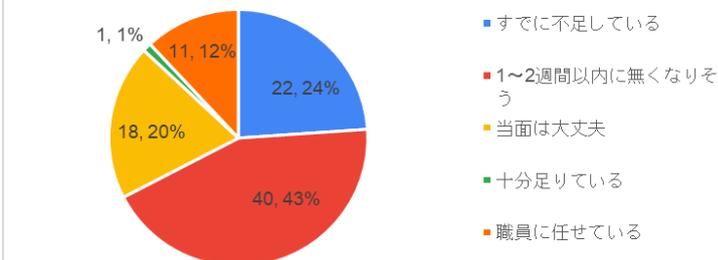
- 通常の送迎対応
- ニーズに応じて細かく対応
- 送迎規模を縮小
- 感染対策のため、1回あたりの送迎人数を縮小等
- 元々送迎なし
- 閉所している
- その他（送迎中止）

アルコール消毒液等の衛生用品は足りていますか？

89件の回答



感染予防で職員が使用するマスクは足りていますか？



<行政における対応及び動き等に関して>

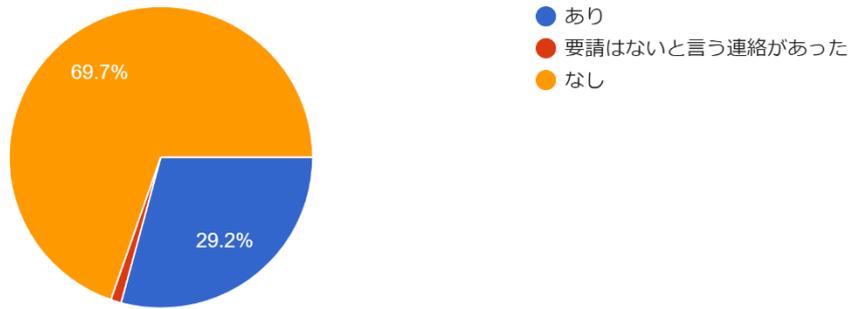
今回のことで、市町村担当課から国の通知や事務連絡は迅速に届いていますか？

89件の回答



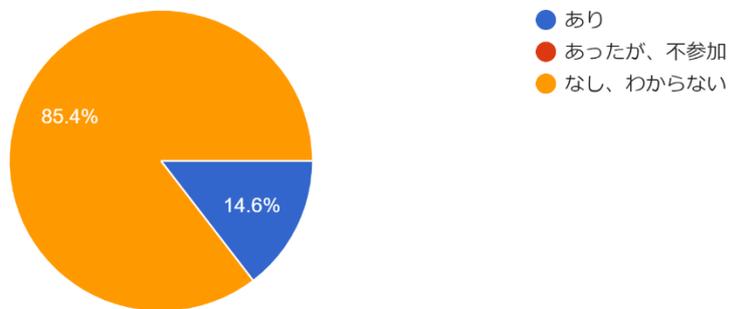
市町村担当課から受け入れに関する要請や調整はありましたか？

89 件の回答



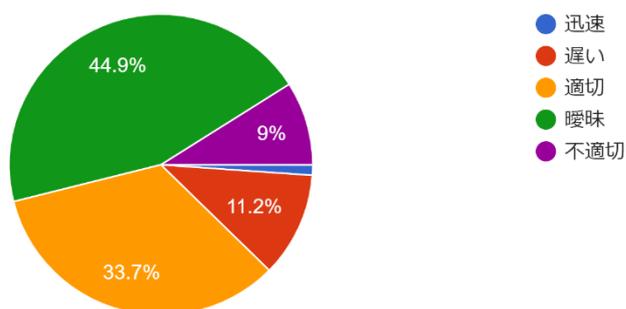
市町村担当課と対応について話し合い等がありましたか？

89 件の回答



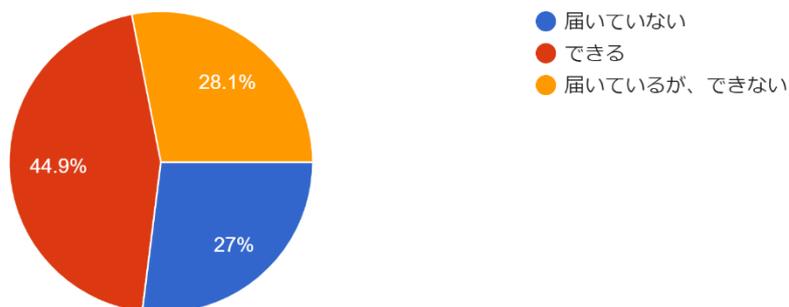
都道府県・市町村の行政の対応等は適切と思いますか？

89 件の回答



厚労省・文科省以外に届いている通知を、事務局に提供していただけますか

89件の回答



<現在の困りごとはありませんか？>

- ・ 3月いっぱい閉所し4月から開所の予定だが消毒等の備品が不足しているので感染予防のてっぺいが出来ず、4月になったからと言っても何も現状は変わらないのでとても不安です。スタッフも受け入れについて理解し出来ることを丁寧に行っていますが自分自身の予防や万が一事業所で感染者が出た場合、自分の家族に感染させないためにどうしたらいいのか対応がわからずとにかく開所にあたり不安でしかありません。
- ・ アルコールやマスクは持ち寄りでなんとかしている
- ・ アルコール消毒などの衛生用品の不足
- ・ アルコール消毒液、マスク等が手に入る見込みがない
- ・ アルコール消毒液やマスクの不足
- ・ アルコール消毒液等が足りていない
- ・ アルコール消毒液等やマスクが不足している
- ・ インフルと併せたキャンセル数
- ・ キャンセルにより収入減
- ・ キャンセル増
- ・ クラスタとならないよう集団療育等を休止していることから、職員の業務量が減っており、とりわけ非常勤職員の一時帰休や自宅待機も検討する時期に来ているが、休業補償の発生も見込まれることから、国による財政的支援がなされるかの見通しが示されていないこと。また、卒園式や入園式の実施については事業所判断とされており、統一的な見解をお示しいただきたい。
- ・ コロナの影響で休むことになった場合の補償がどうなるか不安
- ・ できる活動が少ない
- ・ マスク、手指消毒液がなくなりそう
- ・ マスク、手指消毒液がなくなりそう
- ・ マスクがない、消毒薬が無くなりそうで不安
- ・ マスクが不足している。
- ・ マスクが不足している。
- ・ マスクの在庫は1ヵ月程度でなくなりそう
- ・ マスク不足
- ・ もともと個別対応なのと療育後の消毒は実施していたので大きな変化はない。
- ・ 衛生用品が手に入らない、職員の子どもの預け場所がない
- ・ 感染対策への物品の不足・キャンセルへの減収
- ・ 感染予防を意識して、開所しているが、通年よりは欠席児は増加傾向にあるので心配であ

る。

- ・ 休校中で外部関係者は学校に入れなくなり、保育所等訪問支援ができなくなった利用者が半数以上あります。収入は半減し、このまま続くと赤字が増え経営難になります。
- ・ 緊急性を要することはない。
- ・ 兄弟が施設に来たときの対応
- ・ 国の通知と行政の解釈の違いの混乱
- ・ 今後もマスクの購入ができなければ1か月後にはなくなる
- ・ 子育て中のスタッフがおり、自身の子が通う学校の休校によって出勤に影響があること
- ・ 事業所閉鎖となった場合の支援方法、収益
- ・ 児童に関しては閉所している為、収入がない
- ・ 収入が減った。引継ぎを電話で行うと加算がとれない。
- ・ 収入が無いこと 先々の不安
- ・ 消毒のためのアルコールなどが手に入らない
- ・ 消毒液及びマスクの不足。新型コロナの感染が続けば、収入面にも不安が出てくる。
- ・ 上記あるが、マスクとアルコール、ペーパータオルは不足している
- ・ 職員の確保 感染対策 卒園式の短縮 保護者理解
- ・ 職員の感染予防対策
- ・ 職員の不足、休暇に対応できていない
- ・ 職員数の不足
- ・ 職場からマスクを支給できないのに、マスク着用義務があるという矛盾
- ・ 心身ともに弱いお子様が通う施設ですが母子通園で開所しており、学校が休みになった兄弟さんが時々ついてきているため、かえって危険な気がします。
- ・ 世間的に外出や各種会議、行事等についての制限が多くあるが、どの程度までならいいのか判断に迷うことが多い。卒園式やお別れ遠足等の実施についても大変困っている。
- ・ 多機能ではあるが利用数が減少している
- ・ 長くなると衛生面、感染対策が不十分になる
- ・ 長引くと、消毒液がやや不足気味です。
- ・ 特にありません
- ・ 閉所し、訪問支援をしている事業所のパート職員の雇用への心配があります。訪問支援を行ってはいますが、閉所しているので「雇用調整助成金」は対象外にならざるを得ないと考えられますが、小学生をもつ母親や、出産間近な妊婦、60代～の看護師等に関して、出勤をさせられない現状であることもご理解いただきたく、そのような場合の指針が発表されず困っております。また、人工呼吸器の子ども達等の訪問支援者のコロナウィルス検査は実施しなくて本当に良いのかわからないまま訪問支援を行っています。手袋やマスク、アルコールも最小人数で対応しなくてはすぐなくなります。長い目で私たちも対応できるようにと心がけていますが、状況が悪化しているように感じております。尚、訪問支援は北海道では車で片道100分の所でも訪問支援を行っています。ガソリン代やその日は他の訪問がどうしても少なくなってしまうこともご理解いただきたいです。
- ・ 保育園や幼稚園の開所状況がわからない
- ・ 利用が60%減となっています。ご家庭での協力を感謝しているところですが、経営的には大打撃になります。何らかの補償はないものかと思っていて、市に状況報告を行う予定です。

速報時点で明らかになった現場での課題

<共通>

1. アルコール消毒液等衛生用品やマスクの不足が顕著である。

2. 厚生労働省の通知等は、現場まで届いている（9割超）。反面、自治体からの要請や調整はあまり行われておらず、現場は厚生労働省の通知等を頼りに業務をしている様子が伺える。

<放課後等デイサービス>

1. お子さんが事業所を休んでいる間、「きょうだい児で留守番」27.6%、「子どもが一人で留守番」（10.5%）と、家庭での安全を危惧するケースが一定数存在する。
2. 子どもの受入れ人数が、「通常よりも多くの子どもを受け入れている」が14.3%ある一方、「キャンセルによって減っている」が35.2%である。
3. 通常よりも長い時間受け入れている事業所が、36.2%ある。

<児童発達支援>

1. お子さんが事業所を休んでいる間、「きょうだい児で留守番」6.5%、「子どもが一人で留守番」（2.6%）と、家庭での安全を危惧するケースが一定数存在する。
2. 子どもの受入れ人数が、「通常体勢のまま」が62.3%、「通常よりも多くの子どもを受け入れている」が6.5%ある一方、「キャンセルによって減っている」が16.9%である。

今後とも、CDS-Japanとしては、現場の声として、リアルタイムに情報提供していきますので、厚生労働省においては子どもや家族が安全・安心して発達支援等が受けられるよう、今後とも連携・協議を重ねる機会を持っていただくようお願いいたします。

以上